

平成23年度 **Smileねっと**

**Smileねっと** 学校・家庭・地域の連携をめざして  
精道小学校地域連携促進事業



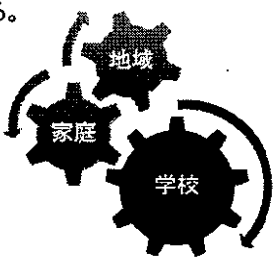
- 精道小学校地域連携促進事業の愛称  
児童会の子ども達が「Smileねっと」と命名  
マーク……昨年度の生涯学習課の方が考案

**Smileねっと**

- 昨年度より2年間、「学校地域連携促進事業」のモデル校(県内で6校)  
⇒学校・家庭・地域の連携のあり方を模索

「Smileねっと」がめざすもの ①

家庭・地域が力を合わせて学校を支援する中で、三者の連携強化を図り、学校を核とする安心安全の街づくりをする。



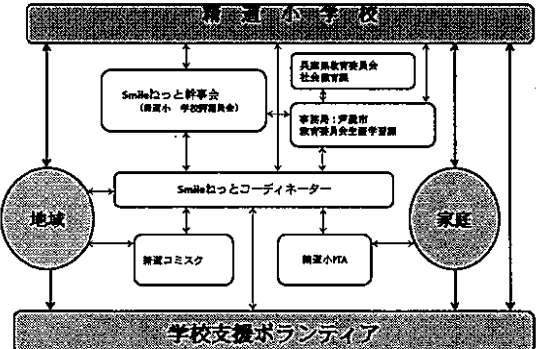
「Smileねっと」がめざすもの ②

- 学校**
  - 家庭・地域の力を借りてより良い教育環境を作ることができる。
- 家庭・地域**
  - 学校に足を運ぶことで、学校の情報をより多く得ることができ、さらに自分が活躍する場を得ることができる。
- 子ども**
  - 家庭・地域の方が学校に支援する姿を見て、自分たちがたくさんの方々に大切に見守られていることに気づき、将来地域で活躍できる大人に育っていく素地ができる。

**Smileねっとのイメージ図**



**Smileねっとの組織関係図**





## H22年度の主な取り組み

- 運動会前日準備・後片づけのお手伝い  
(延べ約70人参加)
- Smileねっと総会の開催(約40人参加)
- 「すまいるねっとつうしん」第1・2号発行  
(2号は新聞折り込み)
- 12/13～20 ボランティアによる図書室開室  
(約30人参加)



## H23年度の活動

- 学校支援ボランティアの登録(H23年9月現在)  
62人(保護者51人、地域11人)
- 図書ボランティア
- 園芸ボランティア
- 環境ボランティア
- 見守りアンケート調査
- 「すまいるねっとつうしん」の発行(年3回)
- Smileねっと総会の開催



## 各ボランティアの活動

- 図書ボランティア・・・図書室の開室(朝8:00～10:30)  
環境整備(書架整理・掲示等)  
新刊本の処理  
本の修繕や廃棄のお手伝い
- 園芸ボランティア・・・お花のお手入れ・草抜き・苗の植え付けのお手伝い
- 環境ボランティア・・・学校内をきれいにするお手伝い

\*いずれも、自分の都合に合わせて参加可能。  
モットー・・・「無理なく、楽しく、できることから」

## 図書ボランティア(図書電算化作業)

- 期間:2011年5/24～6/30
  - ボランティア:地域・保護者 延べ約500人
  - 古本の廃棄・本の修理・新刊本の処理  
バーコード貼り
  - ボランティアさんの感想
- 「おしゃべりしながら楽しく作業しました。たくさん  
の本に触れることができ良かったです。」  
・・・等々。



## 図書ボランティア(図書電算化作業)①



## 図書ボランティア(図書電算化作業)②



図書ボランティア(図書電算化作業)③



図書ボランティア(書架整理)①



図書ボランティア(書架整理)②



図書ボランティア(朝の図書室開室)①



図書ボランティア(朝の図書室開室)②



図書ボランティア(朝の図書室開室)③



図書ボランティア(朝の図書室開室)④



花いっぱい園芸活動(マリーゴールド植え付け)①



花いっぱい園芸活動(マリーゴールド植え付け)②



花いっぱい園芸活動(マリーゴールド植え付け)③



花いっぱい園芸活動(マリーゴールド植え付け)④



花いっぱい園芸活動(プランター清掃)⑤



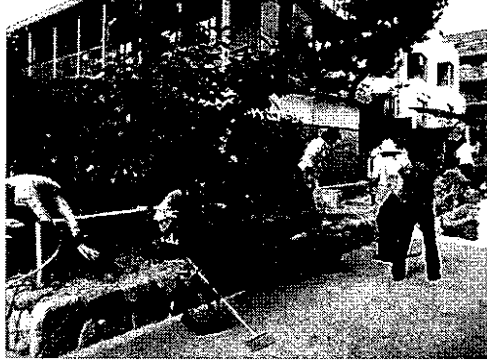
花いっぱい園芸活動(花壇の清掃)⑥



花いっぱい園芸活動(花壇の清掃)⑦



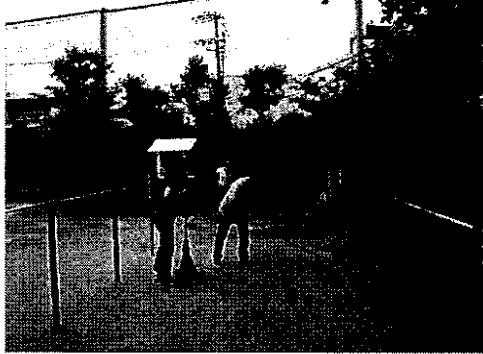
花いっぱい園芸活動(花壇の清掃)⑧



環境ボランティア(運動会前日準備)①



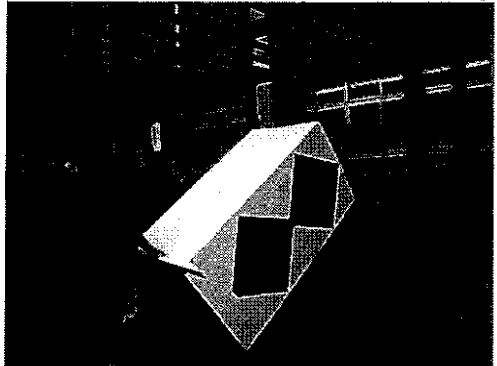
環境ボランティア(運動会前日準備)②



環境ボランティア(運動会後片付け)①



環境ボランティア(運動会后片付け)②



環境ボランティア(運動会后片付け)③



環境ボランティア(クリーン作戦)①



環境ボランティア(クリーン作戦)②



環境ボランティア(クリーン作戦)③



Smile  
ねっと

・保護者だけでなく地域の方にも学校に足を運んでいただき、学校をより身近に感じてもらえ、さらに三者それぞれの意識向上にもつながった。

・各活動のお知らせ:すまいるねっとつうしんの発行により、Smileねっとのことを広く知っていただき、学校・家庭・地域連携への共通認識を持つことができた。

・子ども達は、親や地域の方が学校に足を運んで下さることに対して、嬉しさや安心感を持つことができた。

・地域団体においては、Smileねっとが新しい意見交換の場となり、学校や保護者と一歩踏み込んだ関係を構築することができた。



### 今後の課題(来年度に向けて)

- 来年度以降事業継続に向けた組織のあり方
- 事務局(今年度は生涯学習課)のあり方
- コーディネーターの安定的確保・研修
- 学校支援のあり方
- ボランティアをどう拡大するか
- 地域の方に気軽に参加していただくには
- 予算の確保



だからこそ今・・・学校・家庭・地域連携の  
絆(きずな)を

100%の力から⇒120%の力へ

